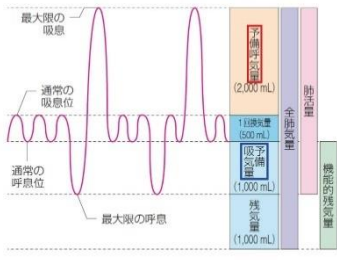


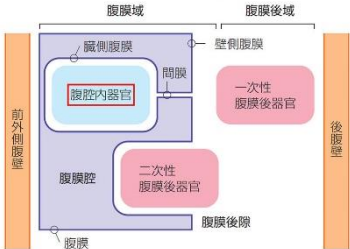
『標準解剖学』 正誤表

このたびは『標準解剖学』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書の第1刷（2017年3月1日発行）、第2刷（2020年11月1日発行）、第3刷（2022年11月1日発行）に以下の誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

2017年5月15日作成 2023年10月26日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	005 頁・図 1-2 運動用語・C の図タイトル	<u>上肢, 肢</u> の外転・内転と外旋・内旋	肩関節と股関節 の外転・内転と外旋・内旋	2019/12/23
1	018 頁・左段・Clinical scope の 9 行目	骨粗鬆症 <u>osteoprosis</u> は, …	骨粗鬆症 osteoporosis は, …	2017/05/15
1	028 頁・図 1-24 有髄神経線維(A)と無髄神経線維(B)・図 B	<u>軸索膜</u>	神経線維鞘	2019/01/14
1	037 頁・図 1-31 副交感神経系, 節前・節後線維の経路	下下腹神経 <u>節</u>	下下腹神経 叢	2019/04/08
1	065 頁・右段・上から 4 行目	… <u>胸</u> 骨弓を越えて腹壁に入り…	… 肋 骨弓を越えて腹壁に入り…	2019/09/30
1	070 頁・Clinical scope 「●肺活量」(画像内赤枠・青枠部分)	(画像内赤枠部) 予備 <u>呼</u> 気量 (画像内青枠部) 予備 <u>吸</u> 気量  ●肺活量 各量の数値は成人における標準値の例であり、体格や年齢、性別などによって異なる。	予備 吸 気量 予備 呼 気量 (2つを入れ替え)	2018/01/15
1	079 頁・図 2-27 右心房と右心室の内腔, 前面	<u>冠状静脈口</u>	卵円窩	2019/07/15
1	108 頁・図 3-8	第 <u>7</u> 肋間神経 第 <u>8</u> 肋間神経	第 7・8 肋間神経 第 9 肋間神経	2019/09/30

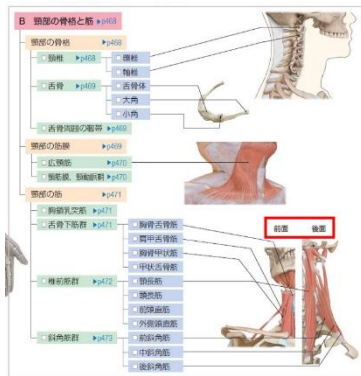


刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	132 頁・図 3-30 腹部の器官と腹膜の関係・青色部の記述（画像内赤枠部分）	腹腔内器官  ● 図 3-30 腹部の器官と腹膜の関係	腹膜内器官	2017/05/29
1~2	197 頁・図 4-32 A.	外腸骨 <u>静</u> 脈	外腸骨 <u>動</u> 脈	2022/01/18
1	221 頁・右段・下から 8~5 行目	・上頭斜筋 obliquus capitis superior: <u>C2 の後面正中から起こって C1 の横突起に停止する。</u> ・下頭斜筋 obliquus capitis inferior: <u>C1 の横突起から起こって、後頭骨に停止する。</u>	・上頭斜筋 obliquus capitis superior: <u>C1 の横突起から起こって、後頭骨に停止する。</u> ・下頭斜筋 obliquus capitis inferior: <u>C2 の後面正中から起こって C1 の横突起に停止する。</u>	2018/10/01
1	232 頁・右段・Developmental scope 内・本文 3~4 行目	<u>食肉類(イヌ、ネコなど)には鎖骨がない。</u>	食肉類の一部(イヌなど)には鎖骨がなく、ネコの鎖骨は痕跡的である。	2017/07/24
1	241 頁・表 6-2 「小胸筋」の「起始」	第 <u>2</u> ~5 肋骨	第 <u>3</u> ~5 肋骨	2021/04/22
1	242 頁・表 6-3 「広背筋」行「作用」列	<u>肩</u> 甲骨の内転・伸展・内旋	<u>上</u> 腕骨の内転・伸展・内旋	2018/01/15
1	247 頁・表 6-6 「上腕三頭筋」行「起始」列	長頭: 肩甲骨の関節 <u>した</u> 結節	長頭: 肩甲骨の関節 <u>下</u> 結節	2017/10/23
1	249 頁・右段・5 行目	<u>神経</u> <u>正中</u> 神経 (C7~T1) により支配される。	<u>神経</u> <u>尺骨</u> 神経 (C7~T1) により支配される。	2017/07/03
1	275 頁・図 6-37・肘関節での運動・伸展	<u>10°</u>	<u>5°</u>	2020/06/22
1	284 頁・表 6-28・「尺骨神経」の「支配する筋」	「深 <u>枝</u> 屈筋尺側部」	「深 <u>指</u> 屈筋尺側部」	2020/08/03
1	290 頁・図 6-50 上肢の動脈の主幹	<u>肩</u> 甲下動脈	<u>胸</u> 背動脈	2019/01/14



刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	293 頁・表 6-33 上肢の動脈②：肩甲骨周囲・「肩甲下動脈」行「分布・分枝」列	枝：① 胸 <u>肺</u> 動脈，	枝：① 胸 <u>背</u> 動脈，	2017/07/03
1	331 頁・表 7-13 足底の筋：第 1 層・「小趾外転筋」行「神経支配」列	<u>外側足足底神経</u>	外側足足底神経	2017/10/23
1~2	341 頁・表 7-19 膝関節の運動と作用する筋「回旋（屈曲時）」行「大腿の筋」列	<u>「半腱様筋，半膜様筋」</u> <u>「大腿二頭筋」</u>	「大腿二頭筋」 「半腱様筋，半膜様筋」 *「半腱様筋，半膜様筋」と「大腿二頭筋」が逆になっておりました。	2021/01/18
1	343 頁・図 7-28 足首と足の関節・B. 靱帯	<u>「外側面」 「内側面」</u>	「内側面」 「外側面」 *「外側面」と「内側面」が逆になっておりました。	2019/06/10
1	350 頁・表 7-22 下肢に分布する仙骨神経叢の枝・「坐骨神経／脛骨神経部」行「支配する筋」列	<u>内転筋群</u> の大部分…	大腿屈筋群の大部分…	2019/09/30
1	350 頁・右段・上から 4 行目	…大腿に入って大内転筋の <u>前方</u> で…	…大腿に入って大内転筋の <u>後方</u> で…	2019/09/30
1	378 頁・右段・上から 8 行目	大翼の <u>後部には卵円孔 foramen ovale（上顎神経[V₂]</u> の通路）が開いている。	大翼の <u>前部には正円孔 foramen rotundum（上顎神経[V₂]</u> の通路）が、後部には卵円孔 foramen ovale（下顎神経[V ₃]の通路）が開いている。	2020/08/31
1	390 頁・右段・1 行目	頭蓋底の <u>頸静脈</u> を出て…	頭蓋底の <u>頸静脈孔</u> を出て…	2017/09/04
1~2	408 頁・図 8-31 B.	前房 <u>偶角</u>	前房 <u>隅角</u>	2022/01/18
1	418 頁・表 8-9 外耳の感覚神経支配・最左列 2 行目および 4 行目	頸神経叢 下顎神経[V ₁] 迷走神経[X] 舌咽神経[XI]	頸神経叢 下顎神経[V ₃] 迷走神経[X] 舌咽神経[IX]	2017/07/24



刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	418 頁・左段・下から 2～1 行目	…前上部には下顎神経[V ₁] 由来の…	…前上部には下顎神経[V ₃] 由来の…	2017/07/24
1	418 頁・右段・4 行目	…には、舌咽神経[XI]の…	…には、舌咽神経[IX]の…	2017/07/24
1	424 頁・右段・下から 11 行目	…内頸動脈とともに	…内頸静脈とともに	2019/01/14
1	434 頁・右段・下から 6 行目	顔面神経[V]経由で中枢に…	顔面神経[VII]経由で中枢に …	2017/07/24
1	466 頁・中下部・図の キャプション（画像内 赤枠部分）	前面 後面 	浅部 深部	2017/07/24
1	472 頁・左段・09 行目	③ <u>胸骨甲状筋 sternothyroid</u> は、…	③ 甲状舌骨筋 thyrohyoid は、…	2017/05/15
1	472 頁・左段・14 行目	④ <u>甲状舌骨筋 thyrohyoid</u> は、…	④ 胸骨甲状筋 sternothyroid は、…	2017/05/15
1	472 頁・左段・17 行目	作用 喉頭を下に引き、 <u>胸 骨甲状筋</u> と協力して舌骨を 下に引く。	作用 喉頭を下に引き、 <u>甲 状舌骨筋</u> と協力して舌骨を 下に引く。	2017/05/15
1	473 頁・表 9-3 舌骨下 筋群・「筋」列 3, 4 行 目	(3 行目) <u>胸骨甲状筋</u> (4 行目) <u>甲状舌骨筋</u>	(3 行目) 甲状舌骨筋 (4 行目) 胸骨甲状筋 (2 つを入れ替え)	2017/05/15
1～3	563 頁・右段・7 行目	② 前脊髄視床路は、	② 前脊髄小脳路は、	2023/10/26
1～3	568 頁・図 10-54	外側脊髄視床路 前脊髄視床路	外側皮質脊髓路 前皮質脊髓路	2023/10/26

